

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

元離宮二条城の運営について

二条城は、1603年徳川家康により築られました。その後、国から京都市に下賜され、元離宮二条城として1940年（昭和15年）から一般公開しており、令和5年度は約186万人の皆様にご来城いただきました。

合わせて、国宝の二の丸御殿をはじめとした文化財を保存し、次世代への継承に取り組んでおります。

施設の主な取組（概要）

【世界遺産・二条城本格修理事業】

世界共通の財産である世界遺産・二条城を次代へ保存・継承していくために、平成23年度から約20年間にわたり、国宝・重要文化財建造物の本格修理事業を実施しています。

＜平成23年度～平成25年度は唐門・築地塀の本格修理を実施しました＞



【修理前】



【修理後】

＜平成29年度～令和5年度は本丸御殿の本格修理を実施しました＞



【本丸御殿】

今後も二の丸御殿をはじめ、城内にある重要文化財建造物の修理を進めていきます。

施設運営に関する支出・収入（概数）

入城者1人あたりに換算すると、入城料収入等による年間の収入は1,050円（総額19.5億円）であり、運営費の590円（総額10.9億円）を賄っています。

＜支出：利用者1人あたりの運営経費590円（総額10.9億円）＞

施設運営費 250円	施設営繕費 200円	人件費 150円
---------------	---------------	-------------

＜収入：利用者1人あたりの収入1,050円（総額19.5億円）＞

入城料収入等 1,050円

支出を上回る収入については、本格修理事業をはじめとする文化財の保存等に必要な整備等に活用します。